

コロナ禍における 医学部受験の現状と 合格のポイント

富士学院 学院長
坂本 友寛



まずは、2020年度入試についての総括を行いたいと思います。新テストを翌年に控え最後のセンター試験となった2020年度入試は、少子化や受験生の安全志向もあり、予想通り国公立、私立共に志願者と受験者は減少し、一昨年に引き続き、今年度入試も昨年の志願者・受験者を下回る結果となりました。

更には受験生の他学部進学の流れも強く、医学部医学科を目指して今年度浪人した受験生は昨年度と比較しても大幅に減少しており、2021年度入試は18歳人口の減少を含め、医学部を目指す受験生が更に減ることにより、今年度以上に合格のチャンスが広がる入試となりそうです。しかし2021年度入試は、現在日本をはじめ世界を襲っている新型コロナウイルス感染症の影響により、私達がこれまで経験したことのない、ある意味これまでの入試の常識が通用しない大変な受験となります。

令和2年(2020年)6月19日に文部科学省から通達された令和3年度(2021年度)大学入学選抜実施要項によると、センター試験に代わり新たに実施される大

学入学共通テストの日程の大幅な変更や、国公立、私立を問わず個別学力検査を行うすべての大学に対し、新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者の受験機会を確保する為の方策として、新たに追試験を設定するか、追加の受験料を徴収せず別日程(後期試験等)への受験の振替を行う旨の内容が書かれています。今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、更なる入試日程の変更や受験会場の変更などもあり得る、まさに2021年度入試は前代未聞の入試となりそうです。大学入学共通テストは、本来行われる予定日であった2021年1月16日・17日を第1日程とする一方、新たに第2日程として1月30日・31日が追加され、また2月13日・14日には特別追試験が行われることになりました。

これは今回のコロナ禍により休校になった学習の遅れを取り戻すための処置として発表されたもので、第2日程を選択できるのは現役生のみで、個人では申し込めず学校を通じての申し込みのみとなるようです。文部科学省からの通達では第1日程、第2日程のどちらを選択するかは受験生が決めることになっているよう

校舎までお問い合わせ下さい。

今、医療業界は“本物の人材”を求めています。“人材”になるか、なれるかは、全てが貴方次第です。将来の良医や名医がこれからたくさん育っていくことを心から期待し、私たち医学部を目指す皆さんを全力で応援していく覚悟です。

でも大事になってきます。

ここからは前例のないコロナ禍における2021年度入試についての医学部合格のポイントについて少しまとめたいと思います。これまで、医学部合格を目指す上での大きなポイントのひとつとなつたのが、大学毎の正しい最新の入試情報を取得することでした。

個別学力検査は大学毎・科目毎で難易度や出題の範囲や傾向、配点などが違うため、受験生本人との相性の問題が生じやすくなります。出願先の選定がまさしく可否を分ける大きなポイントとなるため、大学毎の正しい入試情報を取得できるかどうかが、可否に影響を及ぼしてきます。そういう意味では、2021年度入試はこれまで以上に正しい入試情報の取得が重要になります。出願先の選定のみならず、どういった受験日程を組むのかも含め、学力以外の部分が合否に大きく影響してくるといって、これまではない受験になってくると思います。また“学力勝負”以外という意味では、受験生のメンタル面も問われる受験になってくる

予備校の休校など、今回のコロナ禍の問題で多くの受験生が直接的な影響を受けました。今後の受験についてもまだまだ多くの不確定要素があるため、勉強や受験そのものに集中できにくい環境であるのも事実です。ただし大変な現状はみんな同じなので、メンタル面で大きな差がついてしまいません。合格には、“周りの雑音に左右されない”、“受験に集中する”、“最後まで諦めない”という強い意識と精神面でのタフさが必要になり、これも合否を大きく分けることにつながります。面接試験も、コロナがもたらす問題を踏まえてさらに重要になり、これまで以上に合否に影響を及ぼすものになってくるでしょう。医師として今後活躍していく自覚や覚悟が、更に求められる面接試験になると思います。今日はコロナ禍の中揺れ動いている2021年度入試についてお話しましたが、紙面の関係で詳しくお伝えできていないことがまだまだあります。その後の最新受験情報を含めて、もっと詳しくお聞きになりたい方や、何かご相談等があれば、ぜひお気軽に富士学院各

ですが、強制ではないため、おそらく多くの進学校が、学校単位で受験日程を決めることになると思います。第1日程を選択するのか、第2日程にするのかは、可否を分ける選択になる可能性もあり、入試問題に難易度の差がないのかなどの問題点もはらんでいます。第2日程を選択すれば、新テストの内容や傾向がある程度把握できるというメリットがある反面、国立二次試験に向けての対策が遅くなるというデメリットもでてきます。またこの入試日程の変更は他にも多くの問題をはらんでおり、第2日程を選択すると、国公立の前期日程と後期日程の出願の締め切りと重なることになったり、私立医学部を併願する受験生は、私立受験をしながら大学入学共通テストを受けることにもなっています。

また個別学力検査の追試験の取り組みについても大学毎で大きな差があり、追試験の代わりに新たに後期試験を導入する大学があったり、追試験の受験資格についてもかなり異なるので、大学毎の情報をしっかりと把握することがと

医学部受験 富士学院

富士学院 検索

東京御茶ノ水校： ☎0120-01-9179
東京十条校： ☎0120-02-9179
名古屋校： ☎0120-9816-33
大阪校： ☎0120-06-9179

岡山校： ☎0120-9179-00
小倉校： ☎0120-08-9179
福岡校： ☎0120-5251-22
鹿児島校： ☎0120-66-9179

※来春 京都校及び医学部進学塾広島校開校予定

DATA

富士学院

④ 国立大44人、私立大297人

④ 中学生、高校生、高卒生

④ 寮・専用食堂あり

④ [高卒生] (一例)

入学金22万円、国立大175万6700円、

私立329万4500円、併願コース前期184万300円、完全個別指導コース546万2600円 ※特待生制度あり

④ 東京、名古屋、大阪、岡山、小倉、福岡、鹿児島に8校舎。「東京御茶ノ水校」東京都千代田区

神田淡路町2-23 香山ビル2F・3F ☎0120-01-9179 「福岡校」福岡県福岡市博多区博多駅南3-2-1 ☎0120-5251-22



各科目の講師と担任講師、職員が生徒の情報を共有し、連携しているのが大きな特徴です

現在、東京をはじめ全国に直営8校舎があり、全校舎に専用寮と食堂を完備している。高卒生は国立医学部コースのほか、無選抜の私立医学部コース、国立・私立併願コ

ースを設置。中高生は個人指導が中心となる。高卒生も個人指導をいつでも受けることができる。希望者にはオンライン個人指導も実施している。生徒を交えたチーム会議も年に数回実施し、各科目の講師と担任講師、職員が生徒の情報を共有し、細かく連携しながら指導を行い、毎年生徒の2人に1人以上を医学部医学科に進学させているのも大きな特徴だ。また、大学のオープンキャンパスなどで、大学の入試問題の過去問解説を含む入試対策講座を行ってお

富士学院

来春京都校、進学塾広島校を新規開校予定

り、今年度は久留米大学、東海大学、昭和大学Webオープンキャンパスで、それぞれ入試対策講座を行っている。その他、予備校ではめずらしい医師、医大生のOB会組織を擁しており、現在、医師222名を含む834名が登録。合格後も、「良医」になるためのサポートが続く。